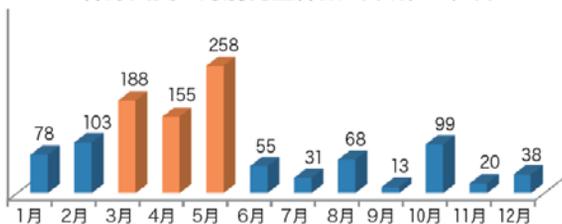




森林火災について

春先の3~5月は林野火災の発生件数が多く発生する季節です。これは、空気が乾燥することに加え、春を迎えて、火入れや、登山、山菜採りなど入山者が増加するためと考えられています。近年、火災の件数は減少傾向にありますが、平成27年度の件数でみると、1日当たり、全国で毎日約3件の火災が起きていることとなります。

林野火災の月別発生件数(平成27年中)



消防白書(平成28年版)を基にグラフ作成

区分	平成26年	平成27年	増減数	増減率(%)
出火件数(件)	1,494	1,106	△ 388	△ 26
焼損面積(a)	106,182	53,844	△ 52,338	△ 49
損害額(万円)	136,902	25,502	△ 111,400	△ 81
死者数(人)	17	8	△ 9	△ 53

出典:消防白書(平成28年度)

火災は、間伐等の森林管理が行われていない森林では、林床が藪状になって、樹冠まで燃え広がる危険性が高くなります。また、一般にスギ、ヒノキなど針葉樹は樹皮が薄いので、火に弱く、表皮を焦がす程度の火熱でも生理機能が停止し枯死することが多いといわれ、利用できない被害木が林内に放置されると、病害虫が侵入しやすく、その後の造林や保育にも影響を及ぼします。伐倒除去など早期に処理することが大切です。

林野周辺にお住まいの方や、入山する方は、この時期に、山火事への防火意識を高め、火災予防にご協力いただきますようお願いいたします。

森林保険のお仕事のご紹介

新たな森林保険センターの職員のご紹介!

私は保険業務課(審査担当)の課長補佐として、森林保険の審査担当のとりまとめ役を担当しております。具体的にはてん補の決裁にあたっての書類のチェックや委託費(てん補分)の集計、委託事務審査などの担当にもなっております。森林組合系統への業務研修等にも講師として参加する予定です。まだまだ駆け出しですが、精一杯頑張りたいと思います。

また、てん補規程等の改定なども担当しておりますので、森林保険(てん補)の現状の事務処理について分析をし、どのように効率化していけばよいか検討を進め、形にしてお客様の利便性が向上するよう努力して参りたいと思います。



保険業務課
課長補佐 剣持直樹

私は4月より森林保険の引受業務を担当しております。業務内容は、契約申込書の内容確認と保険証書発行の取りまとめ、問い合わせの対応を行っています。また、委託先の保険担当者向けの研修会の開催や、よりよい仕組みづくり、委託事務審査等を予定しています。

木材生産のみならず、地球環境保全や土砂災害防止といった公共性も併せ持つ森林。その森林の方が一の災害に備える唯一のセーフティーネットである森林保険の利便性向上を目指し、皆様のお役に立てるよう努めて参りたいと思います。



保険業務課
保険契約係長 田中千恵

森林保険Q&A



しつもん!

申込先はどこですか?

保険加入する森林が所在する都道府県の森林組合または森林組合連合会で申し込みできます。なお、所在する森林が複数の県にまたがるなど、一つの森林組合で対応することが困難な場合などは、森林保険センターで申し込みに対応する場合があります。